

令和4年度事業報告書及び財務諸表 並びに令和5年度事業計画書



株式会社 いわみ道の駅

令和4年度の地域振興施設売上高では、541,053千円で対前年同期67,617千円増、同比114.3%となりました。(資料Ⅱ参照)

○部門別売上高

単位:千円税抜き 資料Ⅱ

店舗別		実績	計画	前年	対計画	対前年	売上構成率	対前年同期増減率	
地域振興施設	直営	水産物直売所(魚跳屋)	83,510	72,000	70,719	116.0	118.1	15.4	0.5
		軽食コーナー(いわみのおばちゃん家)	16,506	14,500	13,827	113.8	119.4	3.1	0.1
		ふるさと納税	13,941	22,000	21,970	63.4	63.5	2.6	-2.1
		給食・麦わら帽子	13,095	11,000	11,564	119.0	113.2	2.4	-0.0
		通信販売	559	1,500	1,347	37.3	41.5	0.1	-0.2
	小計	127,611	121,000	119,427	105.5	106.9	23.6	-1.6	
	テナント	267,443	250,000	241,660	107.0	110.7	49.4	-1.6	
	委託販売等(土産等)	145,999	119,000	112,349	122.7	130.0	27.0	-4.8	
	小計	413,442	369,000	354,009	112.0	116.8	76.4	1.6	
	地域振興施設合計	541,053	490,000	473,436	110.4	114.3	100.0	100.0	
周辺テナント計		180,636	167,000	163,997	108.2	110.1			
総合計		721,689	657,000	637,433	109.8	113.2			

直営全体の売上高は、127,611千円で、対前年同期8,184千円増、同比106.9%。

各部門別では、「直営鮮魚 魚跳屋」83,510千円 対前年同期12,791千円増 同比118.1%。
他店との差別化を図るため、地元産の活きのよい鮮魚・加工品の取り扱い、品揃えの補完部分で鳥取市公設地方卸売市場、近隣の仲買人より商品を仕入れて他店の差別化を図りました。また、生ごみの問題、若い層、有職主婦をターゲットに調理済みのパック、見せ方の工夫などにより、来店客数が増えた中で利用客数(前年比12.8%)が確実に増えております。本年度も引き続き当店の強みを生かした松葉がに茹で上げ即売会等を行い、売上高のかさ上げを図りました。

「直営軽食 いわみのおばちゃん家」16,506千円 対前年同期2,679千円増 同比119.4%。

来店客数の増、県外客の増等により利用客(前年比12.9%)が大幅に増えました。引き続き地元の野菜・鮮魚を積極的に使用、既製品ではなく手作りのメニューが好評いただいております。特に、地元食材を使用した日替わり定食、さしみ定食についてはお客様より大変好評を得ております。

「ふるさと納税」13,941千円 対前年同期▲8,029千円減 同比63.5%。

前年を大幅に割込みました。要因については、松葉ガニは前年に対して微増でありましたが、本年度は特に精肉関係が大幅に落ち込みました。コロナの外出の規制緩和などによる巣ごもり需要の減、また、各ふるさと納税の同類同様商品の掲載の仕方等により分散化されたと考えます。

「給食・麦わら帽子」13,095千円 対前年同期比1,531千円増 同113.2%。

税抜:単位千円

給食	令和3年度	10,303	麦わら帽子	令和3年度	1,261	計	令和3年度	11,564
	令和4年度	12,035		令和4年度	1,060		令和4年度	13,095
	増減額	1,732		増減額	-201		増減額	1,531
	増減率	16.8		増減率	-15.9		増減率	13.2

給食は、地元産の安心安全な農産物を優先し地産地消を進めてまいりました結果、本年度は前年を上回りました。麦わら帽子は、旬の岩美町の特産品を提案してまいりましたが、巣ごもり需要の反動等で前年を割込みました。

「通信販売」559千円 対前年同期▲788千円減 同比41.5%。

巣ごもり需要の反動と商品のマンネリ化、内容のメンテナンス不足等により前年を割込みました。

続きまして、地域振興施設内のテナント売上高は、267,443千円 同比110.7% 来店客数の増、欠品対応等により、前年増となりました。

委託販売(土産等)につきましては、145,999千円 対前年同期33,650千円増 同比130.0%。

昨年と比べ県外客の増に伴い利用客数前年比25.4%増と伸び、特に土産品が好調、また、新開発商品、惣菜などの新規取り扱い、買い回り商品の好調で大幅な伸びとなりました。

周辺テナントにつきましては、全体で180,636千円 対前年同期16,639千円増 同比110.1%。

特に今までコロナの影響をまろに受けていた飲食関係が復活基調になりました。

道の駅きなんせ岩美全体の売上では、721,689千円 対前年同期84,256千円増 同比113.2%と大幅な増となりました。売上総利益では、71,418千円 対前年同期10,259千円増 同比116.8%になりました。

一方販売費及び一般管理費は、67,504千円 対前年7,904千円の増、同113.3%になりました。本年度は売上総利益の増に伴い、コロナ発生以来数年間、据え置きしていました人件費を、従業員の労に報いるため、予算外に年度末賞与2,000千円を支給しました。また、従業員のモラルアップのため、定時社員から社員への登用、退職金の積み立てなどにより、人件費総額は前年に対して2,656千円 106.5%増になりました。また、原油価格高騰により水道光熱費は節約したものの、前年に対して2,911千円 133.9%と大幅な増になりました。施設管理費については、新たなゴミ収集方法により前年に対して945千円 162.3%と大幅な増になりました。その他、前年に対して大幅な費目増は、必要品の早期購入と設備の早期手当によるものです。結果、営業利益段階では、3,914千円の利益になりました。営業外損益につきましては、本年度、事業外収益として、道の駅管理委託料、7周年記念イベント協賛金、経営力強靱化補助金、協力隊委託料等10,166千円を計上いたしました。事業外費用では、国交省施設管理費、道の駅交流事業費等7,938千円を計上し、税引後当期純利益は4,502千円の黒字を計上致すこととなりました。なお、剰余金処分案でございますが、後ほど経理担当より詳細をご報告いたします。内容につきましては、当期純利益分を繰越利益剰余金としたいと考えております。

(2) 設備投資の状況

当事業年度中における設備投資の総額は、2,136千円になっております。その主なものは、レジ周り造作1,288千円、水槽433千円、ポストレジセキュリティ415千円によるものであります。セミポストレジ19,555千円につきましては7年リースで対応しております。

(3) 資金調達の状況

当事業年度において、特記すべき事項はありません。

皆様におかれましては、何卒引き続き倍旧のご支援ご鞭撻をくださいますようお願い申し上げます。

(4) 財産及び損益の状況の推移

区分	平成26年度 (第1期)	平成27年度 (第2期)	平成28年度 (第3期)	平成29年度 (第4期)	平成30年度 (第5期)	令和元年度 (第6期)	令和2年度 (第7期)	令和3年度 (第8期)	令和4年度 (第9期)
売上高	千円 0	千円 242,524	千円 346,486	千円 420,413	千円 471,267	千円 528,320	千円 481,235	千円 473,436	千円 541,053
(△は損失) 経常利益	千円 0	千円 △9,233	千円 6,500	千円 1,181	千円 4,904	千円 12,684	千円 7,079	千円 8,054	千円 6,141
(△は損失) 当期純利益	千円 △30	千円 △9,415	千円 6,317	千円 998	千円 3,785	千円 5,820	千円 5,202	千円 6,522	千円 4,502
(△は損失) 一株当たり当期純利益	円 銭 △19 74	円 銭 △4,893 45	円 銭 3,283 26	円 銭 518 76	円 銭 1,967 08	円 銭 3,024 76	円 銭 2,703 73	円 銭 3,389 67	円 銭 2,339 98
総資産	千円 15,484	千円 51,439	千円 41,280	千円 58,208	千円 62,325	千円 60,596	千円 64,875	千円 65,897	千円 82,418
純資産	千円 15,170	千円 9,795	千円 16,068	千円 17,066	千円 20,851	千円 26,670	千円 31,872	千円 38,394	千円 42,896

2. 会社の株式に関する事項

(1) 発行可能株式の総数

普通株	5,000株
A種類	2,500株
B種類	2,500株

(2) 発行済株式の総数

普通株	1,520株
A種類	134株
B種類	270株

(3) 当期末株主数

普通株	6人
A種類	3人
B種類	25人

3. 会社役員に関する事項

(1) 取締役及び監査役の氏名等

役名	氏名	担当または主な職業
代表取締役	吉田 喜美	道の駅きなんせ岩美駅長
取締役	宮下 正直	鳥取いなば農業協同組合理事
取締役	北村 一行	岩美町商工会長
取締役	田淵 幸一	田後漁業協同組合長
取締役	板倉 高司	鳥取県漁業協同組合副組合長
取締役	川口 博樹	岩美町観光協会長
取締役	長戸 清	岩美町長
監査役	清水 雄作	鳥取いなば農業協同組合代表理事常務
監査役	高井 清貴	岩美町商工会副会長

第 9 期

決算報告書

令和 4 年 4 月 1 日から

令和 5 年 3 月 31 日まで

株式会社 いわみ道の駅

(法人番号:9270001006597)

貸借対照表

商号 株式会社 いわみ道の駅

代表者 吉田 喜美

令和 5年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流 動 資 産	(74,623,371)	I 流 動 負 債	(38,966,826)
現 金 及 び 預 金	62,625,699	買 掛 金	23,454,067
売 掛 資 産	7,773,458	未 払 法 人 税 等 金	10,833,457
未 卸 収 入	1,536,625	未 払 消 費 税 等 金	458,700
	2,687,589	預 り 金 等	2,235,100
		商 品 券 等	773,502
			1,212,000
II 固 定 資 産	(7,794,627)	II 固 定 負 債	(555,000)
有 形 固 定 資 産	(2,144,627)	長 期 預 り 金	555,000
建 構 物	1,382,706		
機 械 及 び 装 置	1		
車 両 運 搬 具	1		
工 具 、 器 具 及 び 備 品	761,918		
無 形 固 定 資 産	(50,000)		
ソ フ ト ウ ェ ア	50,000		
		負 債 の 部 合 計	39,521,826
		(純 資 産 の 部)	
		I 株 主 資 本	(42,896,172)
		1. 資 本 金	19,240,000
		2. 資 本 剰 余 金	0
		3. 利 益 剰 余 金	(23,656,172)
		(1)そ の 他 利 益 剰 余 金	(23,656,172)
		繰 越 利 益 剰 余 金	23,656,172
		II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	0
		III 新 株 予 約 権	0
III 繰 延 資 産	(0)		
		純 資 産 の 部 合 計	42,896,172
資 産 の 部 合 計	82,417,998	負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	82,417,998

損益計算書

令和 4年 4月 1日から
令和 5年 3月31日まで

商号 株式会社 いわみ道の駅

(単位：円)

科 目	金 額	
I 売上高 売上雑収入 / 家賃等	541,052,727 16,467,603	557,520,330 557,520,330
II 売上原価 商品仕入 容器包装費 / 商品仕入 販売雑費 / 商品仕入 その他販売費 / 商品仕入 合期末棚卸利益	479,897,177 1,745,614 1,795,502 2,721,831	1,479,113 486,160,124 487,639,237 1,536,625 486,102,612 71,417,718
III 販売費及び一般管理費 販売費及び一般管理費益		67,504,079 67,504,079 3,913,639
IV 営業外収益 受取利息		546 10,165,538 10,166,084
V 営業外費用 国道の活性化事業 施設管理費 雑損		2,204,063 5,088,194 646,135 7,938,392
経常利益		6,141,331
VI 特別利益		0 0
VII 特別損失 固定資産圧縮		415,000 415,000
税引前当期純利益		5,726,331
法人税、住民税及び事業税		1,224,200 1,224,200
当期純利益		4,502,131

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 4年 4月 1日から

令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

科	目	金	額
販売	員 給 与		11,891,525
広告	告 伝 費		306,727
販売	員 促 進 費		710,913
役員	員 報 酬		4,200,000
給	業 員 与		16,263,623
従	業 員 賞 与		4,980,000
法	定 員 福 利 費		4,584,953
厚	給 生 費		522,326
減	与 負 担 金		960,000
り	価 償 却 費		301,374
地	一 代 家 賃		1,986,339
修	繕 費		480,000
消	耗 品 費		1,603,873
通	道 信 費		1,339,035
水	道 光 熱 費		386,748
租	税 公 課		11,484,559
寄	待 付 金		149,332
接	保 交 際 費		15,000
保	險 料		128,203
備	品 消 耗 品 費		236,680
施	設 管 理 費		465,727
旅	費 交 通 費		2,461,873
支	払 手 数 料		466,133
車	両 燃 料 費		1,118,283
会	議 費		178,220
雑	費		4,679
合	計		277,954
			67,504,079

棚卸資産の計算内訳

令和 5年 3月31日現在

(単位：円)

科	目	金	額
商	品		1,536,625
合	計		1,536,625

株主資本等変動計算書

商号 株式会社 いわみ道の駅

令和 4年 4月 1日から

令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

I 株主資本			
1. 資本金	当期首残高		19,240,000
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>19,240,000</u>
2. 利益剰余金			
(1) その他利益剰余金	当期首残高		19,154,041
繰越利益剰余金	当期変動額		
	当期純利益	4,502,131	<u>4,502,131</u>
	当期末残高		<u>23,656,172</u>
その他利益剰余金合計			
	当期首残高		19,154,041
	当期変動額		
	当期純利益	4,502,131	<u>4,502,131</u>
	当期末残高		<u>23,656,172</u>
株主資本合計			
	当期首残高		38,394,041
	当期変動額		
	当期純利益	4,502,131	<u>4,502,131</u>
	当期末残高		<u>42,896,172</u>
II 評価・換算差額等			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>0</u>
III 新株予約権			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>0</u>
純資産の部合計			
	当期首残高		38,394,041
	当期変動額		
	当期純利益	4,502,131	<u>4,502,131</u>
	当期末残高		<u>42,896,172</u>

個別注記表

商号 株式会社 いわみ道の駅

令和 4年 4月 1日から

令和 5年 3月31日まで

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

III. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 1,049,748円

IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数
(1) 普通株式 1,520株
(2) A種類株式 134株
(3) B種類株式 270株

V. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、22,295.30円であります。
2. 一株当たり当期純利益は、2,339.98円であります。

以上

令和5年度 事業計画基本方針(案)

1. はじめに

令和2年から始まりました、新型コロナウイルス感染症の終息宣言はありませんが、感染分類が2類から5類への引下げなど、今までの規制も無くなり、今年度はコロナ禍前までの経済の活性が期待される年度になると思います。この様な中、道の駅きなんせ岩美は今年度開店8周年を迎えます。

本年度は、山陰近畿自動車道の岩美道路開通、浦富インター付近の住宅・商業施設の拡大、近隣の商業施設の廃業、10月からインボイス制度の導入等、道の駅を取巻く環境は変化してきています。この様な変化の中で、今まで以上にお客様にご来店いただける店づくりのためには、「商品と人との連動」が必要と考えます。常に変化があり活気のある店、また、これらを知っていただくための情報発信には、新たな協力隊の協力をいただき引続き力を入れてまいります。また、本年度は更なる岩美町の魅力発信、道の駅きなんせ岩美の業容の拡大の為、ふるさと納税の見直しを図ります。ふるさと納税の成功事例を参考にしながら、システム、商品開発の見直しを図る年度とし次年度以降の布石としたいと考えます。

また、本年度は懸案事項でありました、冷蔵冷凍ショーケースの入替、更には将来を担う人材の採用育成を行います。特に経費面においては、昨年以上に水道光熱費の大幅な増、セミポスレジのリース経費、人件費増など新たな経費増がありますが、収支バランスを確認しながら経営を行ってまいります。

総合的な経営スタンスについては、引続き「入を量り出するを制す」を基本姿勢とし、サービスにおいては、基本的な挨拶の徹底、お客様の立場にたったの対応など顧客満足を高めてまいります。数ある道の駅でただ単に「立ち寄り型」ではなく、お客様の行動計画に入る「目的型」の道の駅を構築してまいります。

これらの実践により健全経営に資するため、全従業員一丸となって事業を展開してまいります。

何卒倍旧のご支援ご鞭撻を下さいますようお願い申し上げます。

2. 実施する事業

- (1) 道路利用者への休憩の場の提供に関すること
- (2) 地元特産品の展示及び販売並びに飲食物その他の物品の販売に関すること
- (3) 観光情報及び地域情報の発信に関すること
- (4) 地域の住民相互の交流の促進に関すること
- (5) 災害発生時の被災者等への支援に関すること
- (6) その他、道の駅の設置の目的達成するために必要な事業

3. 運営管理に関する基本事項

- (1) 関係法令、条例、規則等を遵守し、施設目的に合った管理運営を行ない、利用者の安全確保に努めます。
- (2) 道路利用者への良好な休憩場所の提供、地域情報の発信等により、町民と来訪者との交流を促進するとともに、特産品の販売による地域産業の振興に資するという設置目的に基づき、管理運営を行ないます。
- (3) 地域の特産品を優先して取り扱い地産地消に努めます。
- (4) 施設の衛生面には十分留意し日常清掃を徹底します。
- (5) 利用者の意見を管理運営に反映し、利用者へのサービス向上に努めます。
- (6) 施設の適切な管理を行い管理運営経費の縮減に努めるとともに、部門別目標を明確にして業績評価を行い、業務改善を図り健全経営に努めます。
- (7) 個人情報等を適正に取り扱うため関連法令等を誠実に順守します。
- (8) 地域住民の雇用に努めます。

4. 部門別実施計画

全体事項

- (1) 施設案内及び各種問合せに対しては、親切丁寧な対応を心掛け、常にサービス向上に努めるとともに、施設の利用等について、主催者及び利用者、町民から苦情があった場合は、適切な対応を図ります。
- (2) 施設及び設備、備品の機能と環境を良好に維持し、サービス提供が常に円滑に行われるように、日常点検、保守及び法廷管理業務を行い安全かつ安心して利用できる施設の保全に努めます。
- (3) 従業員の勤務体制は、施設の管理運営に支障がないよう配慮し、利用者の要望に応えられるものにするるとともに、従業員の資質の向上を図るため、研修を実施し施設の運営に必要な知識と技術の習得に努め利用者の

満足向上に務めます。

- (4) 施設利用者が快適に施設を利用できるよう良好な衛生環境、美観の維持に心がけ、公共施設として安全快適な空間を保つために必要な清掃業務を実施します。特に、鮮魚売り場、飲食店厨房、加工施設、公衆トイレ等の水周りについては、安全で清潔に利用できるように管理します。
- (5) 道の駅の利用促進を図るため、施設案内パンフレット等必要な媒体を作成し積極的かつ効果的なPRや情報提供を行います。
- (6) POS システムを活用した係数管理と分析を行い、商品構成の見直しなど客単価アップを図るための戦略をたてるなど健全経営に努めます。
- (7) 地域の生産者団体と連携し、体験メニューの開発・提供及び四季折々の地元産品を提供できるよう努め地域の活性化を図ります。
- (8) 町民と利用者の交流が促進されるイベントや地域のコミュニティー形成に関する企画を立案し、施設の設置目的を効果的に達成するための自主事業を実施します。
- (9) 利用者アンケート等により利用者等の意見や要望を把握し、利用者の意見を管理運営に反映させ、利用者へのサービス向上に務めます。
- (10) 災害緊急時の利用者の避難、誘導、安全確保、必要な情報等について日ごろから訓練し、緊急事態の発生時には的確に対応いたします。また、道の駅の防犯、防火及び防災に万全を期し、利用者が安心して利用できる環境を確保した保安警備業務を行ないます。
- (11) 売場レイアウトの見直しを図ると同時に、ケース効率が上がるようにケース内の展開商品を見直します。
- (12) 欠品に対しての意識感覚の改革と、フォロー体制を構築してまいります。

【水産部門】

- (1) 現状のスーパーマーケット売り場から他店との差別化を図るため、現在の長所を残しながら、本来の道の駅鮮魚売り場を構築します。
- (2) 地元生産者との関係を密に岩美町の新鮮な魚介類を提供してまいります。
- (3) 対面販売のメリットを活かすため、おすすめ品や調理方法など積極的なお客様への声かけや販売方法の検討を行うなど販売促進に努めます。
- (4) お料理教室など地域の交流が促進されるイベントを実施し、魚食普及と販売促進に繋げるとともに、水産の町岩美町を広くPRします。
- (5) 利用者の意見、要望を積極的に伺い業務改善に役立て良質なサービスの提供に努めます。

- (6)若い主婦、有職主婦のライフスタイルにあった調理済み、加工品など積極的に展開していきます。
- (7)催事に関しては、納入業者の参加協力も得て展開していきます。

【軽食】

- (1)水産部門と連携するなど新鮮な地元の素材を活かした商品の提供に努めます。
- (2)旬の素材を使用した新たなメニューの開発提供を積極的に行うとともに、メニューのスクラップ&ビルドを行います。
- (3)メニュー数の見直しをし、少ない人員で回し効率を上げていきます。
- (4)店舗、設備など衛生管理の徹底を図り、安全安心な商品の提供に努めます。
- (5)利用者の意見、要望を積極的に伺い業務改善に役立て良質なサービスの提供に努めます。

【給食食材供給・麦わら帽子】

- (1)取引先との連絡を密にトラブル発生を未然に防ぎます。
- (2)売上高減の要因を分析し、フェア開催時の売れ筋商品を提案していきます。
- (3)岩美町の旬情報を発信していきます。

【ふるさと納税】

- (1)岩美町の農海産物を中心に加工品・工芸品など岩美町を自慢できる商品を提案していきます。
- (2)単品商品と関連商品などのセット販売を考案してまいります。
- (3)成功事例を参考に、商品開発・手法などを研究していきます。

【通信販売】

- (1)ふるさと納税商品との住み分けを明確にして、岩美町の特産品、加工品、等四季折々の特産品を紹介していきます。
- (2)メンテナンスについては、固定商品を柱に春夏秋冬の季節特産品を提案し、マンネリ化防止を図ると同時に見て楽しい通販ネットを作成していきます。
- (3)情報発信の拡大と新商品の開発を積極的におこなっていきます。

令和5年度 事業計画書（案）

（単位：千円/税抜）

		令和4年度 計画	令和4年度 実績	令和5年度 事業計画	対前年実績 増減額	対前年 実績対比	
営業 費用 損 益	営業収益	490,000	541,053	550,000	8,947	101.7%	
	販売雑収入	15,500	16,467	18,000	1,533	109.3%	
	①【純売上高】	505,500	557,520	568,000	10,480	101.9%	
	期首たな卸高	1,479	1,479	1,537	58	103.9%	
	商品仕入高	437,000	479,897	484,000	4,103	100.9%	
	容器包装費	1,300	1,746	1,700	△ 46	97.4%	
	販売雑費	1,800	1,795	1,800	5	100.3%	
	その他の販売費	2,000	2,722	2,800	78	102.9%	
	期末たな卸高	1,200	1,537	1,600	63	104.1%	
	②【当期売上原価】	442,379	486,102	490,237	4,135	100.9%	
	③【売上総利益】 ①-②	63,121	71,418	77,763	6,345	108.9%	
	人件費	役員報酬	4,200	4,200	4,200	0	100.0%
		給与手当	14,700	16,264	24,700	8,436	151.9%
		販売員給与	15,400	11,892	11,000	△ 892	92.5%
		従業員賞与	3,000	4,980	4,000	△ 980	80.3%
		法定福利費	4,400	4,585	5,300	715	115.6%
		厚生費	350	522	780	258	149.4%
		給与負担金	1,000	960	180	△ 780	18.8%
		人件費計	43,050	43,403	50,160	6,757	115.6%
		旅費・交通費	600	466	500	34	107.3%
業務費		会議費	10	5	10	5	200.0%
	接待交際費	100	128	200	72	156.3%	
	広告宣伝費	500	307	300	△ 7	97.7%	
	販売促進費	0	711	0	△ 711	0.0%	
	通信費	350	387	350	△ 37	90.4%	
	消耗品費	900	1,339	900	△ 439	67.2%	
	支払手数料	1,100	1,118	1,100	△ 18	98.4%	
	業務費計	2,960	3,995	2,860	△ 1,135	71.6%	
施設管理費	租税公課	200	149	150	1	100.7%	
	修繕費	1,500	1,604	1,000	△ 604	62.3%	
	保険料	200	237	200	△ 37	84.4%	
	水道光熱費	8,500	11,485	13,500	2,015	117.5%	
	車輛燃料費	200	178	200	22	112.4%	
	備品消耗品	500	466	300	△ 166	64.4%	
	施設管理費	1,500	2,462	2,500	38	101.5%	
	施設費計	12,400	16,432	17,700	1,268	107.7%	
	減価償却費	167	301	500	199	166.1%	
	リース料資産償却	0	0	2,800	2,800	#DIV/0!	
④【販売費・一般管理費計】	リース料	2,000	1,986	1,300	△ 686	65.5%	
	地代家賃	480	480	480	0	100.0%	
	寄付金	10	15	20	5	133.3%	
	雑費	700	278	300	22	107.9%	
	④【販売費・一般管理費計】	62,567	67,505	76,770	9,265	113.7%	
	⑤営業利益（損失） ③-④	554	3,913	993	△ 2,920	25.4%	
	営業外損益	受取利息	0	1	0	△ 1	0.0%
		雑収入	12,000	10,165	15,200	5,035	149.5%
		⑥計	12,000	10,166	15,200	5,034	149.5%
		雑損失	450	646	500	△ 146	77.4%
国交省施設管理費		2,200	2,204	2,940	736	133.4%	
道の駅交流等事業費		182	408	736	328	180.4%	
地域おこし協力隊活動費	4,618	4,680	4,364	△ 316	93.2%		
⑦計	7,450	7,938	8,540	602	107.6%		
⑧経常利益（損失） ⑤+⑥-⑦	5,104	6,141	7,653	1,512	124.6%		
特別損益	特別利益	0	0	0	0		
	⑨計	0	0	0	0		
	特別損失	0	0	0	0		
	固定資産圧縮損	0	415	0	△ 415	0.0%	
⑩計	0	415	0	△ 415	0.0%		
⑪税引前当期純利益 （損失）⑧+⑨-⑩	5,104	5,726	7,653	1,927	133.7%		
⑫法人税・住民税（△）	1,276	1,224	1,915	691	156.5%		
⑬当期純利益（損失） ⑪-⑫	3,828	4,502	5,738	1,236	127.5%		